

Audacity

mp3 ファイルの読み込み

Audacity を開いておいて、その画面に、mp3 ファイルを、ドラッグ・アンド・ドロップ

画面

データがウィンドウより広い場合、画面下の「スクロールバー」で位置を合わせる
カット

青い波形のエリアでいらない部分をドラッグして範囲指定、上のはさみマークで「カット」

・「Del」キーでも削除できるが、「カット」ではないので、「ペースト」できなくなる
波形部分の「拡大・縮小」

上の虫眼鏡マーク (F4 拡大ツール) を選んで、波形部分をクリックすると「拡大」
Shift を押しながらクリックすると「縮小」

再生部分の選択 (F1 選択ツール)

波形の部分をマウスドラッグして範囲指定 (上の時間の数字の部分ではない)

音を大きくする

1. 大きくしたい部分を選んで
・ダブルクリックで全体
2. 「エフェクト」>「增幅」

保存

そのまま保存すると、Audacity 独自の「プロジェクトファイル」として保存される。
mp3 として保存したい場合は、「書き出し」をする。

ホワイトノイズの作成

1. トラック > 新規追加 > ステレオトラック でトラックを追加して
2. 生成 > ノイズ > ホワイトノイズ で生成
1. 振幅は、0.1 で十分
2. 継続時間で、時間を設定して、生成 (ミリ秒単位もできる)
3. 音量を下げる
1. 範囲を上のメモリのところで選んでおいて
2. エフェクト > 音量と圧縮 > 増幅 > -20db くらいに
4. ファイルで保存

1. 生成したホワイトノイズの長さは、継続時間で設定した長さでも、ファイル自体の長さが長いと、その一部がホワイトノイズになって、ファイル全体ではもっと長い時間になるので注意。
- 2.mp3 としてエクスポート

ブラウニアンノイズの作成 Brownian noise

- ・作り方はホワイトノイズと同様。種類を選ぶだけ。
- ・ランダムなブラウン運動にちなんだノイズ。
- ・ホワイトノイズよりもやわらかめの音。
- ・これを生成した後、エフェクトで、ラウドネスノーマライズをかけるとよい。

ポーズの長さの確認

- ・波形を増幅しておくと無音部分が確認しやすい
- ・画面下中央の「選択範囲」のギアマークで表示するものを選択
 - ・「選択範囲の開始点と長さ」を選んでおく
- ・波形の無音部分
 - ・下の枠の時間が、選択範囲の長さ、つまり、ポーズの長さの数値
 - ・小数点以下二桁目を四捨五入

(2.4)